

広報

箕輪町のすがた

“箕輪の今”を毎月お届けします。

環境にやさしいまちづくりに向けて、大量消費型のライフスタイルを見直し、今日から省エネ・節約型の暮らしをしてみましょう。

次回の箕輪町のすがたは4月26日(土)掲載予定です。

環境にやさしいまちづくりを目指して!!

箕輪町は第四次振興計画に基づいて、環境にやさしく、快適にくらせるまちづくりを目指しています。具体的には「エコアクション21」と、「箕輪町役場地球温暖化対策実行計画」を推進し、目標値の達成を目指しています。また町民の皆様の指針となる「環境基本計画」を改訂しました。

循環型生活環境の確立を目指し、ごみの発生抑制、リサイクル推進について積極的に取り組んでいます。また、ポイ捨てごみの処理、アレチウリ等支障植物の除去、アメリカシロヒトリ等の害虫駆除をしています。

町の温暖化対策

町では、「地球温暖化」をはじめ様々な環境問題に対応するため、平成十六年度に「箕輪町地域新エネルギービジョン」を策定しました。このビジョンの主要重点プロジェクトの一つとして「みのちゃんバス(町内巡回バス) BDF事業」を推進しています。

このプロジェクトは、町内で発生する廃食用油を利用し、バイオディーゼル燃料(以下「BDF」という。)を製造し、利用することにより、地球温暖化防止を図るものです。

一般家庭で、今までゴミなどで処理されていた「天ぷら油」を回収し、町内にある知的障がい者等授産施設「箕輪町共同作業の家」敷地内に建設したBDF精製作業場「エコハウスみのわ」において、共同作業の家の皆さんがBDFにリサイクルし、「みのちゃんバス」に活用しています。

また、約千五百人を対象にアンケートを実施した結果、約七十%の方が、「天ぷら油」を燃やせるゴミとして処理し

ている現状が分かりました。また、九十一%の方から、回収に協力するとの回答を得ています。そこで平成十七年度は二回試験的に廃食用油を回収し、約二千二百リットルを回収することができ、事業の見通しが立ちました。

廃食用油をBDFとしてリサイクルすることにより、「みのちゃんバス」に使用することができ、「みのちゃんバス」に使用することにより、地球温暖化防止のための二酸化炭素の削減推進と循環型社会の構築に向けて、町民の皆様のご理解を得ることができました。

「天ぷら油」を持参してきた皆さんから「これまでは、処理に苦労していた。回収してもらい、とても助かる。燃料に再利用出来るのも良いですね。」などの好意的な意見をいただいています。

また、「箕輪町共同作業の家」でBDFを精製することにより、授産施設へは継続的な新規作業を提供することができました。

平成十八年度は、廃食用油を九千二百リットル回収し、約六千五百リットルのBDFを精製しました。現在、国レベルでBDFの規格化が検討されており、今後、環境先進国並にBDFが普及することが期待されています。



みのちゃんバス

生ごみを減らそう!

重量比で「燃やせるごみ」のうち、約40%は台所から出される生ごみです。町が平成18年度に「燃やせるごみ」の処理のために支払った費用は、約1億円です。この費用の大部分は皆さんからいただいた大切な税金です。町民1人当たり年間約3,800円が燃やせるごみの処理にかかっている計算になります。生ごみを出さないために工夫しましょう。



ごみ袋に入れられた生ごみは焼却されていますが、水分をしぼって出すことで生ごみは軽くなり、運びやすくなります。生ごみをごみに出す場合も自家処理する場合も、まず水切りを徹底することが大切です。一般的に生ごみに含まれた水分をしぼることで、生ごみの重量が約10%減少するといわれています。平成18年度の燃やせるごみの収集量だけで試算しても、約124tもの水分が生ごみからしぼり出されます。水切りをするだけでこれだけの量のごみが減少すると、ごみ処理にかかる費用や、焼却するための燃料使用量も減少します。水切りができた生ごみは、堆肥化するなどしてできる限り農地へ還元しましょう。町では家庭用生ごみ処理機の購入に補助を行っています。この制度を積極的に活用し、循環型社会の輪を広げましょう。

問合せ先 住民環境課 生活環境係 ☎79-3111(内線116)

3つのRでごみを減らそう!

大量生産・大量消費・大量廃棄の暮らしを続けてきた私たち。その結果、ごみの処理にかかる経費はばく大なものとなり、地球規模の環境問題とも関連して、深刻な状況となっています。これまでの暮らしを見つめ直し、ごみを出さない暮らしに真剣に取り組もうではありませんか!

- ごみを買わない・持ち込まない (Reduce: リデュース)

ごみを発生させないために、一人ひとりがどんなことに注意すればよいのでしょうか?

購入前によく考える
- 繰り返し使う (Reuse: リユース)

今あるものをできる限り利用するために、どのような行動が大切でしょうか?

修理する
- 分別して再生利用 (Recycle: リサイクル)

「分ければ資源、まぜればごみ。」限りある資源を無駄にしないために、分別しましょう